

日 時：令和2年8月20日（木）18時30分～19時30分

場 所：新屋町会館

対象地区：新屋町

参加人数：10名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○平川市すこやか住宅支援事業について</p> <p>（市民から）</p> <p>新屋町でも1件の制度利用があったが、平成28年度から事業を行っている中で、平川市全体では、県外からの移住はだいたい何件くらいあるのか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業としては、まず子育て住宅支援事業を平成25年から27年まで3年間実施しており、その後、平川市すこやか住宅支援事業に移行して、現在まで続けている。</li><li>・事業の利用状況は、8月1日現在で434件、市外から転入された方の利用は185世帯、そのうち県外からの転入者は10～20世帯程度になる。また、市内の方の利用は249世帯となっている。</li><li>・住宅に関しては、平賀駅西側では宅地開発が行われているが、こういった開発は市で実施しているものではなく、実施している業者に対して市が開発支援をしている。団地ができる道路を整備するが、その道路の整備に対して、市街化区域で1m当たり4万6千円、市街化調整区域では1mあたり2万3千円の補助を行っている。さとちょう尾上店付近でも開発が行われており、南田中地区でもこれから実施される予定である。</li><li>・平川市は宅地の価格が高くなく、子育て支援が充実しているので、平川市に住宅を建てたいという方も多いと聞いている。人口は少しずつ減っているが、減る速度は他の地域よりも低いのではないかと。直近の5年間で転入と転出の数を比較すると、世代別では0歳から14歳までは市内への転入者の方が多く、30歳から39歳までの方も転入者の方が多い。これは、住宅支援事業を利用いただいている影響だと考えている。</li></ul>
<p>○若者議会について</p> <p>（市民から）</p> <p>会議の内容について、提言があった中で市として今後支援していきたいようなものがあれば教えていただきたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・他の自治体でも同様の会議を行ってはいるが、市では愛知県新城市を参考にしており、今年度は若者議会の設置に向けたワーキンググループで検討を重ねていく段階となっている。新型コロナウイルスの関係で実施が遅れていたが、昨日、第1回目の会議が行</li></ul>

われた。20歳から26歳までの男女13名に参加していただいた。

- ・令和3年からは、議会とするのか、または会議とするのか、条例を作るのか、どのような事業を行い予算配分していくのかなどを検討していく。18歳から投票ができるようになったこともあり、若い年代の方に行政にもっと興味を持っていただき、将来的に平川市が住みやすい街になっていくようにしたいと思い進めている。

○市の公用車の点検整備について

(市民から)

公用車の点検・整備・車検の依頼が尾上町時代はあったが、合併してからはそれが無くなった。ディーラーでのみ行っているのか。また、入札は行っているのか。地元の業者には依頼がほとんど来ていないと聞いている。

(市から)

- ・基本的には、車両の保管場所がある旧町村の地域ごとに地元の業者に依頼しているはずであるが、車両の入れ替えも進んでいることから、現状を調査したい。なお、消防車両については、平賀、尾上、碓ヶ関の各地域の業者に依頼している。車検・整備の入札は行っておらず、前回実施した業者から見積を徴取して依頼している。

○自宅からやすらぎ聖苑までの道の街灯について

(市民から)

自宅から柏木農業高校方面に向かう交差点の電柱に明かりがつかないため、夜になると真っ暗で車のライトなどがないと見えない。やすらぎ聖苑と自宅の間の道に街灯を付けられないか。町会長に確認したら町会ではできないと言われた。

(市から)

- ・現場を確認してから対応できるか検討する。場所によっては、町会に対応していただく場合もあり、県道であれば県に依頼する必要がある。

○ハザードマップについて

(市民から)

ハザードマップを見たが、以前に六羽川等が氾濫した箇所があったのに反映されていない。旧県道13号線は、今の13号線よりも低くなっているのに、ハザードマップに載せた方がいいのではないかな。

(市から)

- ・今回作成したハザードマップは、平川と浅瀬石川が氾濫した場合を想定しているが、それ以外の個々の河川を反映したものを作成するのは難しいと考えている。県からのデータを元に作成しており、大きな災害を想定したものであるが、皆さんが知っている過去に氾濫した際の経験をもとに、その他の危険な河川と併せて判断していただきたい。

- ・平成25年に大きな水害があったが、沖館方面から県道13号線や庁舎の南側が浸水した。現状は、溢れた水が荒田堰、前田堰で取り込めていないため、小和森方面にその水を抜く工事を実施している。
- ・平賀駅前近辺の浸水対策として進めているのは、オダギリ商会のガソリンスタンド前から田本商店までの前田堰の流量を増やし、それを排水するために小和森の五郷川に抜く対策を実施しており、オダギリ商会のガソリンスタンド付近から六羽川に水を抜くことも検討している。加えて、大鰐浪岡線のバイパスから柏木方面に抜けてくる水を枇杷田川又は五郷川に方面に抜くという3つの対策を行う予定であり、現在は小和森付近から着手している。

○平川市尾上体育館横の通行止めとしている部分の除雪について

(市民から)

尾上体育館横の道路は中学校への通学路になっているが、冬場は通行止めになっている。途中までも除雪してもらえないものか、前回の懇親会で聞いたが回答はなかった。

(市から)

- ・冬場に畑で作業ができるよう、車2～3台分の駐車スペースを確保するということでお話させていただいた経緯があり、対応させていただいている。体育館の屋根の落雪が危険ということで通行止めをしているが、畑での作業のためなど、必要があれば確認して対応する。

(市民から)

体育館を改修することはできないのか。

(市から)

- ・尾上地域においては、3年ほど前にB&Gの体育館を改修済みであり、平賀地地域には新しい体育館が今年完成した。合併前からのすべての公共施設を維持することはできないため、公共施設等の管理計画を作成し、量や質、コストの面から建て替えるものと、無くすものを判断しながら進めている。その中では、尾上体育館が老朽化しても新しく建て替えることはないと考えている。バレーボールなどで利用されていることは把握しているが、尾上地域においてはB&Gを中心に利用していただくことになる。平賀地域にも2つ体育館があるので、そちらも活用していただきたい。

○除雪の詳細のやり方について

(市民から)

新屋町は、ブロック塀の設置の状況などにより、特に冬期間道は道が狭まる箇所があり、高齢者世帯の家もあるが、除雪作業の際に雪を押す場所などについて配慮するよう、業者に対して入札時に伝えることができるものなのか。

(市から)

- ・入札によって担当する業者が変わると、やり方が変わったり効率が悪くなったりということがあるため、概ね前年度の担当区域をベースにした随意契約となっている。押し雪、寄せ雪については、町会から情報を得て対応してもらうよう、業者に説明していく予定である。高齢者、障がい者、一人暮らしなどの事情に個別に対応することはできないが、普段から、こういうことで困っているといった情報を得ることで対応していきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

○県道の歩道がある箇所の除雪について

(市民から)

除雪作業の後に車道と歩道の上に雪が残るが、自分たちで片づけられる量ではない。市の方で排雪してもらえないものか。

(市から)

- ・雪の降り方にもよるが、今後の検討課題としたい。

○除雪による自宅の車庫の損傷について

(市民から)

自宅の車庫の前の舗装が、2～3年前の除雪作業の際に損傷していて、通れなくなっている。補修してもらえないか。

(市から)

- ・現場を確認させていただきたい。